

松阪区域の平成30年度具体的対応方針(案)

区域の概要

- ・2025年の病床数の必要量と2017年度の病床機能報告を比較すると、病床総数は301床過剰となっている。
- ・病床機能別に比較すると、高度急性期機能及び急性期機能で526床過剰である一方、回復期機能については325床が不足する。
- ・2025年に向け、急性期から回復期への病床機能の転換を進めるとともに、全体的なスケールダウンが必要である。
- ・3つの基幹病院の機能分化・連携の検討と並行して、急性期機能のあり方や、回復期機能の充実について検討を進めていく必要がある。

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養・無回答等	計
松阪中央総合病院	142	298				440
済生会松阪総合病院	127	303				430
松阪市民病院	46	221	39	20		326
済生会明和病院		34	180	50		264
大台厚生病院		57		53		110
松阪厚生病院		55		135		190
三重ハートセンター		45				45
花の丘病院			45	51		96
桜木記念病院				60		60
南勢病院				51		51
河合産婦人科		16				16
医療法人社団南産婦人科		14				14
医療法人奈々光会 ナオミレディースクリ ニック		10				10
よしむら医院		7				7
北大路眼科		4				4

担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数				介護保険施設等に移行(2023年)
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院及び松阪市民病院は、2025年に向けて3病院の機能分化・連携に関する検討を進め、各病院の役割の明確化に取り組む。					
県南部の回復期リハビリテーションの拠点として、急性期病院とのさらなる連携強化に取り組むとともに、医療的ケアを必要とする障がい児(者)の支援拠点としての役割を担う。					
紀勢地域の唯一の病院として、地域における急性期医療の確保に貢献するとともに、慢性期機能や在宅復帰支援機能を併せ持つ地域の拠点病院として、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。					
別途、今後の対応方針等について、提出を依頼中。					
産科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
産婦人科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見直しについて説明いただく予定					
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
すいもん眼科		3				3
わきたに眼科		3				3
医療法人前田耳鼻咽喉科気管食道科		3				3
医療法人おかの医院		1				1
堀江クリニック				19		19
医療法人志村医院				19		19
薬王堂医院					18	18
松本クリニック					9	9
計	315	1,074	264	458	27	2,138

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数					
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数				介護保険施設等に移行(2023年)
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
眼科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
内科を標榜し、終末期医療を担う機能を担う。					
(平成30年3月27日松阪あのみクリニックに名称変更)内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②終末期医療を担う機能を担う。					
非稼働病床ではないものの、6年が経過した日における病床の機能の予定が「休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」となっていることから、確認する予定					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
(計)					
2025年の病床数の必要量	222	641	589	385	1,837
2025年の病床数の必要量と2017年病床機能報告との差	93	433	-325	73	301

※なお、この具体的対応方針については、毎年度、地域医療構想調整会議で協議し、とりまとめることとします。

別途、今後の運用見通しについて、提出を依頼中。